

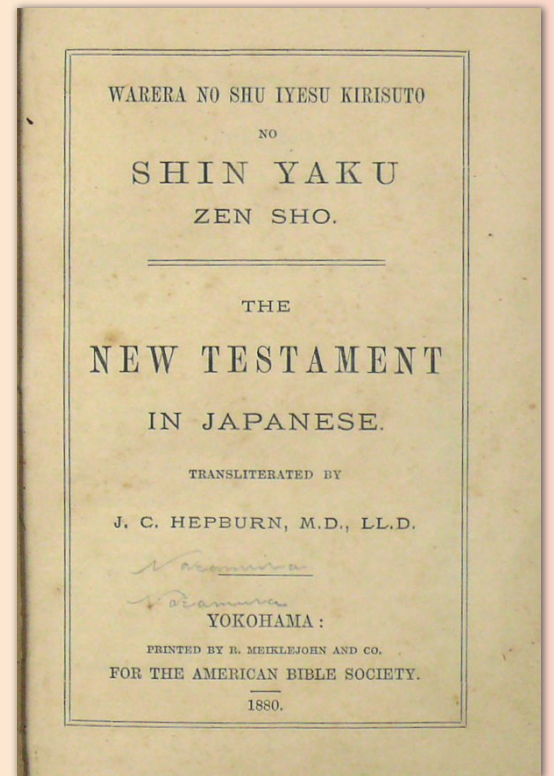
洋学資料にみるローマ字

監修：松田 清（日本研究所客員教授）

ローマ字による日本語表記は、イエズス会宣教師が布教のために編集出版した『^{らほにち}羅葡日辞典』（1595）、『^{にっば}日葡辞書』（1603-1604）にさかのぼります。現代ローマ字のルーツは 1859 年に来日したアメリカ人宣教師 J.C. ヘボンが編著『和英語林集成』（初版 1867）によって広めたヘボン式ローマ字です。これに対し、昭和 12 年（1937）内閣訓令によって定められた訓令式ローマ字は、令和 7 年度まで小学校で教えられてきましたが、令和 7 年内閣告示（2025 年 12 月 22 日付）「ローマ字のつづり方」によって廃止されました。

本展示では、神田佐野文庫の洋学資料からローマ字関係資料 11 点を選び、その複製によって、ヘボン式ローマ字、訓令式ローマ字の歴史と文化を振り返ります。

▼ **ローマ字新約全書** ヘボン訳 1880
The New Testament in Japanese.
Transliterated by J.C. Hepburn.
Yokohama, The American Bible Society.



開催期間：

2026 年 9 月 18 日(金)

～ 2027 年 7 月 30 日(金)

開催場所：

3号館1階 展示エリア

開館時間：

平日 10:00～16:00

**参加費・
事前申し込み
不要**

※ 一般来場歓迎 / 観覧希望の場合は、本学 1 号館 2 階総務部にて入構手続きをお取りください。なお、駐車スペースはございませんので公共の交通機関をご利用ください。

▲ **ブッシュ わんぱく物語** 1888 Wilhelm Busch: Wampaku Monogatari. 東京 羅馬字会 丸善商社書店

問い合わせ：附属図書館 TEL 043-273-1192 / 日本研究所 TEL 043-273-1389